

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2013.9.1
Vol.108

【特集】

2013 年特定非営利活動法人
日本 BPW 連合会総会
名古屋大会

CONTENTS

- 名古屋大会を終えて
アイリス東海クラブ会長余語三枝子
- NPO 法人日本 BPW 連合会
全国大会・総会 名古屋で開催
・「名古屋宣言」を採択
- ・理事長就任の挨拶
- ・第4回日本 BPW 連合会総会
- ・基調講演 要旨
- ・2013 年 BPW
パートナーシップ・エバリュエーション賞
- ・分科会報告
- ・ヤング・スピーチコンテスト全国大会
- 国連 CSW(女性の地位委員会)
インターン募集
- Topic
- 1. JWLI フェローシップ事業
- 2. 男女共同参画社会づくり功労者
内閣総理大臣表彰
受賞 遠藤恵子さん(仙台クラブ)

日本 BPW 連合会ニュースレター

発行人：名取はにわ
編集：広報委員会

日本 BPW 連合会 事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木
2-21-11 婦選会館 303

TEL. 03-5304-7874

FAX. 03-5304-7876

E-mail: office@bpw-japan.jp

ホームページ:

<http://www.bpw-japan.jp>

名古屋大会を終えて

アイリス東海クラブ

会長余語三枝子



2013 年特定非営利活動法人日本 BPW 連合会総会・名古屋大会を会員の皆様の多数のご参加と中部ブロック（東海クラブ・名古屋クラブ・岐阜クラブ）のご協力ご支援を得て盛会裡に終えることができましたことを担当クラブとして心からお礼を申し上げます。

愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会をはじめ多数のご来賓をお迎えし、北は札幌、旭川、苫小牧から、南は今回新しくお仲間入りいただきました熊本まで、多くの会員の皆様、ゲスト、ヤング・スピーチコンテストのスピーカー、ボランティア、一般参加者併せて 175 名の参加者がどのプログラムにも大変熱心にご参加いただきまして会を盛り上げていただきました。整然とした中にも和やかな雰囲気を漂わせた実りある名古屋大会を開催することが出来たことをアイリス東海クラブ会員一同大変うれしく思っております。

「女性の力がビジネスをリードする」の統一テーマに沿った基調講演は、17 年前に子育てを終えた 48 歳の主婦が一念発起して起業され、フェアトレードの世界で成功された土井ゆきこ先生の「フェアトレードと ESD」の演題で実践からくる説得力のあるお話でした。講演終了後の質疑応答も会場からたくさんの質問が出て、理解を一層深めてくれました。特に、ESD は来年愛知県と名古屋市共催で「ESD ユネスコ世界会議」がこの地で開催されますので、男性のご参加も多く時機を得た演題であったと自負しています。

恒例のヤング・スピーチコンテストは全国 5 ブロックの代表 5 人のヤングが「私と仕事」について、思いの丈をぶっつけてくれました。多くの観衆が若い女性の主張に触発され、元気をもらわれたことでしょう。

2 時間にわたり 3 つに分かれて開催された分科会も報告書を拝見いたしますと、どの分科会も活発な討議がなされた様子が伝わってまいります。気がついてみたら長丁場のプログラムも最後まで参加していましたと満足そうなお顔で帰られた参加者もおられました。

懇親会では、厳粛なセレモニーとそれに続く知事と市長へのパートナーシップ・エバリュエーション賞の贈呈もお二人とも大変喜んでいただきお選びしてよかったというのが実感です。圧巻はブラスバンド演奏でした。会場が一つになった瞬間でした。みなさまを歓待するためにホテルサイドも大変気を遣ってくれました。準備段階から当日の運営まで、倒れる会員もなく少人数でよくできたなと感無量です。これも会員の皆様の温かいまなざしとやさしいお心遣いの賜物と心から感謝いたしております。どうもありがとうございました。

<追記>

7 月 10 日東海地方でははじめて大村知事がマニフェストにうたっていた女性の副知事が誕生いたしました。



2013 年特定非営利活動法人日本 BPW 連合会名古屋大会・総会

2013 年 6 月 15 日～16 日、名古屋駅前、名鉄グランドホテルで開催された
参加者は、175 名(会員 112 名、非会員 63 名)

男女共同参画社会の実現に向けて、名古屋宣言を採択

2013 年 特定非営利活動法人日本BPW連合会 名古屋宣言

日本BPW連合会は、2013 年 6 月 16 日の名古屋大会において、「女性NPO法人としての社会貢献ー女性の力がビジネスをリードするために」とのテーマで議論を重ね、以下の宣言を採択する。

1. ビジネスに女性の力を

日本に於ける女性の指導的地位に占める比率が、政治・経済を含むあらゆる分野で世界の最低位あるとの認識のもとに、世の中の変化に対して大胆にチャレンジするためにも、指導的地位に於ける女性の比率の向上が不可欠である。

そのためにクォータ制を含むポジティブ・アクションの実施が必要であり:

- (1) BPWはWEPsを含めビジネスに於ける女性の活用を推進するために活動する。
- (2) あらゆる分野における女性の政策・方針決定の場への参画を増やすために活動する。
- (3) ポジティブ・アクションは、男性を排除するものではなく、女性たちを幹部候補生として認識し、登用の機会をつくるものであることの周知活動をおこなう。

2. 若い女性のNPO指導者の育成を

日本に於けるNPOに対する法的整備は、阪神淡路大震災及び東日本大震災等を経て、急速にすすんでいるが、特にNPO活動では女性のリーダーシップが重要な役割を持つとの認識が高まっている。

そのために、NPOと関わる女性リーダーの育成が必要であり:

- (1) 地域社会の課題に対して、問題解決のためのゴールと使命感をもち優れた指導力を発揮するNPOの若い女性リーダーへの支援活動を行う。
- (2) インターネット等多様なメディアを通じた効果的な発信力、ネットワーク力を活用して、若いしなやかでしたたかな女性たちが捉える社会の問題への取り組みを支援し、共に活動する。

3. NPO法人としての日本BPW連合会の活動

日本BPW連合会が発足してやがて60年。この間、女性をめぐる環境は変化し、BPWの活動にも変容が求められていることは、会員数の変化からも指摘できる。

そのために、BPWとしていすべきことは何か:

- (1) 30-40代の現役活動家ただ中の世代が求めるものは何かリサーチし、いま働く現役女性たちの希望や実情をもとに対応を検討すること。
- (2) 起業を目指す女性が、補助金などの情報に乏しいことからそれらの提供をおこなう。
- (3) 第3号被保険者問題及び配偶者控除問題を若い世代とともに考え解決を目指す。
- (4) 連合会の財政基盤の改善を図り、多くの会員が参加できる意欲的事業を行う。
- (5) 連合会の会員に対する情報ルートについてITも含めて改善を図る。

今年のスローガン「女性の力がビジネスをリードする～経済に活力を与え、地域を活性化し、世界に活躍の場をひろげよう～」を掲げて設定された3つの分科会での議論による提言をもとに作成した「名古屋宣言」を採択。この「名古屋宣言」は6月22日、名取はにわ理事長より、男女共同参画局長佐村知子氏に手渡された。

新理事長に選出されて

名取はにわ



2013 年 6 月名古屋大会が余語三枝子アイリス東海クラブ会長はじめ会員の皆様のおかげさまで大成功に開催されたことを、深く御礼申し上げます。

6 月 16 日の総会で、松原敏美前理事長を継いで理事長に選出されましたので、ど

うぞよろしく願いいたします。

この総会で採択された 2013 年の統一テーマ、活動方針に沿って当法人の運営を役員の皆様方とともに、会員のご協力を得ながら進めてまいります。

連合会は、理事長以下の役員すべてが各クラブに所属していますから、BPWとしての一体性は十分保たれているのですが、連合会と各クラブの距離があるという声をよく聞きます。

そこで、連合会内に、従来の常任委員会の他に、活動に主眼を置いた 6 つのプロジェクト [済州島コンGRESS準備、EPD (イコール・ペイ・デイ)、第 3 被保険者、震災復興、WEPs、JWL I プロジェクト] を立ち上げ、役員を筆頭に、チームを組んで進めていくことにしました。各ブロック委員にもこれらチームでご活躍くださいますようお願いいたします。各クラブにおかれましても、これら BPW の活動に、ご協力をお願いいたします。

そして、組織の拡充は、最優先課題です。

各地のクラブからご要請があれば、役員一同各地に伺う所存ですので、どうかお声掛けをお願いいたします。組織の拡充のためには、正のスパイラルを作りましょう。

魅力的な活動を行うことで、素敵な女性を集め、さらに魅力的な活動を行う。

例えば、EPD やヤング・スピーチコンテストは、素晴らしい活動だと思います。これらを盛り上げるとともに、さらに活動を広げてまいりましょう。

国連の諮問的地位を有する BPWI に所属しているのですから、世界に目を向けましょう。

来年 5 月の済州島コンGRESSに、多くの皆様と参加することを楽しみにしております。



2013 年

特定非営利活動法人日本 BPW 連合会総会

議長	アイリス東海クラブ
副議長	アイリス東海クラブ
書記	アイリス東海クラブ

《総会議題》

第 1 号議案 議事録署名人の選出

議事録署名人を議長大石益美、理事長松原敏美、理事余語三枝子を全員一致で選出

第 2 号議案 議題の承認

全員一致で承認

第 3 号議案 2012 年度事業報告

第 4 号議案 2012 年度会計報告

第 5 号議案 2012 年度監査報告

3~5 号議案、質疑応答の後、全員賛成で承認

第 6 号議案 2013 年度統一テーマ・活動方針 (案)

第 7 号議案 2013 年度事業計画 (案)

上記 2 議案を一括して全員一致で可決

第 8 号議案 2013 年度予算 (案)

表決の結果全員賛成で可決した。

第 9 号議案 定款の変更 (案)

質疑応答の後会員除名の変更を望み 48 条に但し書きを追加する修正提案を表決の結果全員賛成で可決した。

第 10 号議案 理事改選について

任期満了に伴う執行役員の選任については選挙管理委員長より、「定数と候補者数が同数であり選挙管理規則 8 条に基づき総会で確定を頂きたい」との報告とともに、新任・再任を予定される執行役員名簿と理事名簿が提示され、議場一致で承認した。また被選者は、いずれもその就任を承諾した。

※新しい執行役員および理事 (単位クラブの代表) の名簿は最終ページに掲載。



基調講演**ESDとフェアトレード ～持続可能な未来を拓くフェアトレード～**

講師：土井ゆきこ氏

<プロフィール>

フェアトレード名古屋ネットワーク代表

1948年生まれ。家族は夫と男3人の子(いずれも社会人で独立)・生涯現役で働くこと、社会に役立つことを望み、女性企業セミナーを受講。

1966年のウィルあいち(愛知県女性総合センター)オープン時、ショップ公募に「共に生きる」をテーマに応募。同年5月フェアトレード・ショップ「風」s(ふ～ず)をオープン。同時に市民団体「GAIAの会(がいあのかい)」を立ち上げ。フェアトレードの啓発などのイベント・セミナー・映画会・コンサートなどを企画。

2009年6月「名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会」、さらに2013年1月11日「フェアトレード名古屋ネットワーク」の代表になる。



はじめに・・・

★DVDの視聴<http://www.esd-aichi-nagoya.jp/04.html> 参照

2014年にESD(※)ユネスコ世界会議が開かれるが、ESDについて、フェアトレードについて、そして、ESDとフェアトレードはどんな関係があるのか、ということについて少しでも理解してほしい。

現在、地球に暮らす私たち一人一人の生き方が問われている。ESD(持続可能な開発のための教育)は、環境、人権、ジェンダー、国際理解、自然災害などいろいろなことに関わっている。フェアトレードも同じである。フェアトレードは、一言で言えば、共に生きるという理念だが、生活の一部というより、生活そのもの、生き方を問うことであり、ESDととても深くつながっている。ESDとして、持続可能な世界を子どもたちにどう託していくかは難しいが、フェアトレードをととして、ひとりひとりの小さな気づきを育てることができると考えている。

フェアトレード商品について

私が店を始めた18年前、フェアトレード商品として扱っている商品は少なかった。一番高額なものはTシャツ(約4千円)であった。今は、商品の種類が増えた。無農薬で、有機栽培で、児童労働の材料は使わないという人気のチョコレートができたのは15年くらい前である。かわいい小物や食品、衣類、楽器、アクセサリなどもある。

フェアトレードの商品にFLO認証ラベルが付いている。また、フェアトレード団体として認証されたことを示すWF TOマークもある。日本では、ピープルツリー、ネパリバザーロ、シャプラニールが認証されている。

フェアトレードの特徴

フェアトレードの特徴は、「対等なパートナーシップ」である。

貧困に苦しむ人にお金やものを送るのもとても大切だが多くの問題が生じる。例えば、貧しくて生活に必死な途上国では途中で誰かが掠め取ることもある。寄付する方は気持ちいいが、される方は嬉しいけれど申し訳ないという上下関係が生じる。個人のニーズに合致したものを届けられなかったり、品物が尽きてしまい十分に行き渡らなかったりということも考えられる。

一方、フェアトレードは、対等なパートナーシップで仕事に見合ったお金をきちんと払う。先進国と途上国との関係で、力の強い先進国が買いたたく(搾取する)ことはしない。この「公正賃金」を支払うことに加えて、「安定発注」をする。つまり、注文を持続できるために、情報を提供する。先進国のニーズとして自然素材や手仕事で作られたものが求められることを伝えたり、スマートフォンを入れるポーチを作るとよいというアドバイスをしたりする。また、その土地に生まれた人が大切にしている伝統文化を大事にする商品開発を心がける。これまで自分たちの文化を見てもらおう、商品化しようという概念のなかったものに価値を見出し、商品化する。

女性とフェアトレード

環境に配慮した持続可能な生産、児童労働なし、先住民や女性といった立場の弱い人への仕事の提供、対等な立場で人権を損なわない貿易など、環境や人権、ジェンダーに関わることをフェアトレードは行っている。

女性が仕事をすると、女性が経済的に自立でき、家族の中での地位が向上する。商品の流通のため村から出たことのない人が社会に出て視野を広げ、村の生活が向上する。男性は概して自分のためにお金を使い、女性のように家族のために使わないので、生活の向上につながりにくい。女性が仕事を持つことは重要である。

日本でフェアトレードに携わっている人も女性が多い。儲けを考えず、気持ちいい、フェアトレードに携わるのは、女性が多い。ただ、慈善事業ではないので、ビジネスとしての心構えを持たなければならない。

フェアトレードで最も大切なことは「人とつながる」ことである。共に生き、人とつながるという行動そのものが防災などにもつながっていく。

現地では・・・

昨年4月にバングラデシュの首都ダッカから電車で6時間のところにある機織り工場を訪ねた。パキスタンからの独立の際、男性が殺戮され、働き手がなくなったために、女性が機織りを始め、ヨーロッパや日本の団体の支援を受けて、現在、240人が働いている。子どもたちは学校へ行けるようになった。

そこで支援を受けて成功した団体は、より貧しい人を

支援している。余糸を寄付して、それで手織りのショールを作るようになった。首都では仕事がないが、田舎では稼いでいる。

メキシコの山奥のコーヒー農園では、効率的なプランテーションではなく、先住民からなる組合が貧しい先住民を支援して、いろいろな植物との共生の中でコーヒーを栽培する森林農法で、生態系を保護している。

フェアトレードタウンについて

フェアトレードタウンとはフェアトレードを推進する街＝議員、行政、企業、学校、NPO、NGO、市民…、みんながフェアトレードの理念を広めようという街のこと。世界に1,306ある。日本では、2年前に熊本市が1,000番目のフェアトレードタウンになった。

フェアトレードを広めるためにタウン運動を始めた。活動の柱は「国際理解教育」であり、学校を中心に参加・体験型の国際理解教育で、ワークショップを通じて子どもたちに気づきを与えている。これまでに70回くらいのワークショップを行った。子どもたちが児童労働のことを知り、自分たちの生活とも関係があることを知って生活を見直すことができればよい。危険な児童労働に従事している子どもは世界で2億1千5百万人もいる。

子どもたちはワークショップで、自分たちと同じような年齢の子が過酷な労働をしていることにショックを受け、これから食べ物は感謝しながら食べると振り返る。また、そこから世界のことに目を向け、これからの勉強も何のためにするか考えていくであろう。

フェアトレードについては、若者の認知度が高まっている。教科書に取り上げられるようになったからである。初めてフェアトレードタウンになったイギリスの小さな街のことがセンター試験の英語に出題された。家庭科の教科書にも掲載されている。フェアトレード以外のものはなぜ安いのか、を考える仕組みになっている。やはり国際理解教育としてフェアトレードを扱うことは意義深いと思う。

国際理解教育では、まず状況を知り、なぜそうなるかを想像し、考え、行動を起こす人になることを目指している。これはまさにESDの目指すところと同じである。学校現場でこの手法が用いられたら子どもたちは変わる。ワークショップをする子どもたちの様子を見て先生が驚くことも多い。それが次の機会につながり、先生方の研修にもつながる。高校1年生にフェアトレードの話をしたら、その後、自分たちでも行動を起こそうと思った生徒たちが、地域の商店街のイベントにフェアトレードの商品を持って参加したりした。商店街も活気づくので喜び、高校生も大人が買ってくれることで自信をつけることができた。その取組はフェアトレードのカレーを使ったランチボックスをデパートで販売し、地域の和菓子屋でフィリピンの黒砂糖を使ったモナカを作ってもらったことにつながった。

これから…

ワークショップを終えて、マイケル・ジャクソンの「自分たちから変わることだ」という言葉を思い出した生徒がいた。私たち大人は、日々の生活に流されそうだが、今、変わ

らなければもう変わることはできない。自分にできることは何かを問いかけて行くためにも、ESDを知ってほしい。一人一人が人間らしく生きていける世の中になるために、講演を聴く、映画を観る、ワークショップに参加する、そんな形で隣人と話し合いながら進めていきたい。

※ESD＝Education for Sustainable Development の略。

2002年ヨハネスブルクの環境会議で、開発のための教育の10年を日本政府が提案。2014年11月、ユネスコによる世界会議が名古屋で開催予定。

『社会の課題を身近な暮らしに結び付け、新たな価値観や行動を生み出すよう、学習や活動を行う』ということ。

2013年 BPW パートナシップ・エバリュエーション賞

愛知県知事 大村秀章氏
名古屋市長 河村たかし氏

2013年日本BPW連合会名古屋大会のパートナーシップ・エバリュエーション賞は、愛知県知事大村秀章氏と名古屋市長河村たかし氏に贈られました。

◆愛知県知事大村秀章氏◆

2014年まで4年間の「マニフェスト工程表」を作成し、実現を目指して、知事のリーダーシップのもと全庁あげて取り組まれておられます。中でも「男女共同参画」、「子育て支援」の項目を設け女性施策としては、「男性のための参画プロジェクト～男性にとっての男女共同参画を考える～」やポジティブ・アクション推進事業「次世代の女性管理職育成セミナー」などの事業や民間企業や行政の女性管理職の登用を促進するための事業を実施されています。



◆名古屋市長河村たかし氏◆

河村市長は、「安心して暮らせる活気あるまち・なごや」の実現に向けて、独自のマニフェストを作成し、市政に新しい息吹を吹き込んでおられます。「名古屋市男女平等参画基本計画2015」を策定し、「方針決定過程への女性の参画」に成果指標を明記するなど、市民の誰もが性別にかかわらず安心して豊かに暮らせる社会の実現を目指しています。



また、過去最大規模の待機児童対策を打ち出し、待機児童ゼロをめざし保育案内人（ほいくあんないびと）を全区に配置し、子育て支援の充実を図っておられます。



分科会報告

BPWはNPOとして何をめざすのか

第1分科会

ビジネスに女性の活力を

コーディネーター: 名取はにわ(連合会副理事長)
 提案者: 村田美夏(東京クラブ)
 助言者: 土井ゆき子
 参加人数: 38名(非会員3名)



目的 ポジティブ・アクションの実施と「女性がトップになったら？」についての討議。

討議内容 昨年11月の山梨シンポジウムの資料を基に、ポジティブ・アクションについて、基礎的な考え方を復習した。

- ・女性がトップになる上での傷害と、ポジティブ・アクションを導入することについて討議した。
- ・「女性がトップになったら、どうなるか」について、質問票に記載してもらった。

参加者全員が発言。一部会員が政治におけるクォータ制の必要性を主張し、これに対して、分科会のテーマから違和感を持つ者、基本は政治だから納得できるとする者がいた。

ポジティブ・アクションの導入は歓迎するが、自分はトップを目指さないという発言が、複数の会員から出された。

一般参加者から、女性は自動車の後部座席から運転席に移り、自ら運転すべきであるとの発言があり、多くの参加者の共感を呼んだ。

- 提言**
1. 女性に対するポジティブ・アクションの実施こそ、日本の発展に必要であるので、政府にはその実現に向けて、積極的な政策を推進するよう要望する。
 2. ポジティブ・アクションは、女性たちを幹部候補生として認識し、登用するための制度である。
 3. 女性がトップになったら、働く女性のためにきめ細かい配慮をし、世の中の変化に対して大胆にチャレンジし、決してあきらめることなく、柔軟に方針を決定する。



第2分科会

NPOにおける若い女性のリーダーシップ

コーディネーター: 櫻井啓子(東京クラブ)
 助言者: 深沢公子(山梨クラブ)
 提案者: 榊原清乃(名古屋クラブ)
 宮澤由佳(山梨クラブ)
 参加人数: 29名(非会員2名)



目的 NPOの本来のゴールを明確にし、NPOでリーダーシップを発揮している若い女性の活動発表から学び、女性たちの優れた能力を確認、討議する。

討議内容 ・NPOとビジネスのちがいは？

NPOにとって重要なことは、社会の問題を解決したいという気持ちがゴールであり、ビジネスの利益がゴールであることと大きく違う。しかし、ビジネスと同じなのは、明確なターゲット(対象者)、明確な活動、明確な成果のための必要な行動が重要であり、人材、資金、発想、広報が運営と発展のために重要であること。

- ・なぜ女性のリーダーシップがNPOで発揮されやすいか？

NPOにとって、優秀で意志の強いリーダーシップが必要である。ネットワークづくりや、明確な成果を示すことに優れた女性の特性が、NPOでの活躍につながっている。

- ・新しい時代の新しいリーダーシップ像とは？

ひとりのカリスマのリーダーの存在というより、チームで役割達成のための目標を明確にして協力する。周囲を巻き込み、支持を得つつ、イニシアティブをとることのできるリーダーシップ。

- ・NPO代表: 宮澤由佳(NPO法人子育て支援センターちびっこハウス理事長、山梨クラブ)

自身の子育ての経験から必要性を感じて、22年前に設立、その後、サークルからNPO法人、同時に社会福祉法人、株式会社を経営するに至り、山梨の子育て支援のセンターの基礎を築いている。資金調達のための努力、積極的な広報活動、(情報誌や、TV出演、Facebook)、ネットワーク力の素晴らしさを積極的に、楽しみながら、自身の組織を発展させている。(ボストン研修5期生。)



- ・NPO 代表: 榊原清乃(ママスタートクラブ代表、名古屋クラブ)

IBM のマーケティング責任者などの勤務をしている間に、妊娠、出産、産休後、人とのつながりの必要性から、子育て仲間とサークル「ママスタートクラブ」を立ち上げる。子育て期に母親を支援する組織で、コミュニティ助成金を活用し、インターネットを駆使して、復職や再就職に悩む母たちも支援。3,000 人のメンバーとともに、自立積極的な活動ができる組織を目指している。NPO 化と、株式会社の設立も、計画中。(ボストン研修6期生)

- ・参加者全員と、二人の若いリーダーとの、積極的な意見の交換が行われた。

全ての参加者たちから、こうした若い元気な女性たちが、魅力的と思ってもらえる BPW になっていきたいとの声が多かった。刺激を受けた、元気になった、頑張ろう!! 等、多くの声あり。

提言 1. 地域社会の課題に対して、明確な解決のためのゴールと使命感を持ち、優れた指導力を発揮する NPO の若い女性リーダーを支援する。

2. インターネット等多様なメディアを通じた効果的な発信力、関係性を深めるネットワーク力、しなやかさとしたたかさのバランスの取れた若い NPO のリーダーシップ力を学び、共に発展していく。

第3分科会

NPO 法人としての BPW の今後の活動

コーディネーター：藤田ひろみ（福岡クラブ）
助言者：平松昌子（東京クラブ）
報告者：柳下真知子（東京クラブ）
参加人数：50 名



目的 BPW 連合会は、NPO 法人として新たなスタートをきったが、今後連合会が発展するための事業とはどのようなものであるか、また、BPW 連合会の活動を各会員が理解し、共通認識を持つためにはどうしたらよいか、より多くの会員が参加する事業は何か、を考え今後の事業について具体的に検討する。BPW 連合会と各クラブの意思疎通を図り、会員からの意見を反映する仕組みを考える。

討議内容 1. BPW 連合会の目的を定款により確認し、NPO 法の趣旨、創設の背景、特定非営利活動についての説明を行った。

2. BPW の現在の主な事業・活動について報告と説明を行った。

3. BPW の今後の活動について、参加者が 5 つのテーブルに分かれ、BPW 連合会でなければできない活動は何か、どのような活動を行えば参加者が増えるかなどを討議し、以下多くの意見を頂いた。連合会役員がクラブ例会に参加することについては、賛成クラブとそうでないクラブがあった。

(1)BPW の活動費の捻出

- ①寄附を増やす、会員を増やすための施策が必要②インターネット、スカイプ、メーリングリストなどを利用して理事会旅費の削減を図ったらどうか③会費の値上げはしたくない。財団などの財源を探す④映画会、オープンイベント、バザー、助成金などで活動費を捻出

(2)会員数増強

- ①若い人を増やすには費用面のバックアップ、会費に配慮が必要②会員数の数値目標の設定が必要③新クラブの立ち上げを連合会主導で行う④会の活動に見える目標がないので呼び込めない⑤世代交代、後継者育成の問題⑥BPW の他にも多くの活動団体がある⑦スピコン参加者のフォローアップ、入会勧奨⑧これから起業しようとする人への情報配信⑨人材発掘

(3)事業を利用して会員多数が参加できる機会が欲しい

- ①今の事業・活動をいかに会員に周知するかを検討②ブロック研究会の参加呼びかけをもっと積極的に

(4)働く女性についての問題は何か

- ①法制度は整ってきているが、目標が見えづらい②法律はあるが現状の問題解決につながっていない

(5)その他

配偶者控除は女性の働き方を阻害している。ネットで若い人たちの意見を交わす場をつくる。

提言 1. 働く現役世代の女性が求めているものをリサーチ的確な支援を行う。

2. 起業しようとする女性を支援するために、創業補助金などの情報提供を行う。
3. 第 3 号被保険者及び配偶者控除に関する問題を、若い女性とともに考える。
4. 連合会の財政基盤の改善を図り、多くの会員が楽しく参加できる事業費を捻出する。
5. 連合会事業について、多くの会員に周知できるように改善を図る。



第10回 ヤング・スピーチコンテスト

10回目となった今年も、全国の5つのブロックから選出された、様々な分野で仕事を持つ5人の女性が素晴らしいスピーチを披露しました。

最優秀賞 山口 真由さん（西日本ブロック代表）

理事長賞 野村 実里さん（近畿ブロック代表）

ヤングBPW賞

原田 沙斗さん（北海道・東北ブロック代表）

袖山 桂子さん（関東・山梨ブロック代表）

渡利 智子さん（中部ブロック代表）

審査員

各クラブ代表・松原敏美理事長

名取はにわ副理事長

下田一幸氏（名古屋市教育委員会教育長）

清水貴子氏（愛知県教育委員会生涯学習課主査）

講師 下田一幸氏

みなさんが、仕事に誇りを持っておられることに感動しました。そして、社会に貢献していることを、個性豊かに自信をもって語る若いスピーカーから、勇気と力をもらったコンテストでした。優劣つけることは大変難しく、また、BPW が若い世代を育てていることに感動しました。



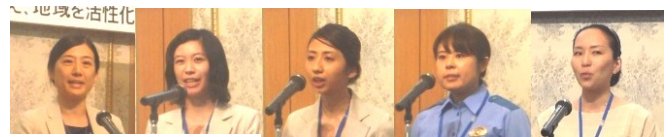
◇最優秀賞 山口 真由さん

『私と仕事』

1982年生まれ。

香川県警高松南署生活安全課。

最終的に警察官になることを決意したのは、大学3年生の時。友達が教師になると言い、熱く将来を語る姿を見て、「こんな先生いいな。フェードアウトした子どもをこんな先生のもとに帰らせることができれば、子どもの人生変わるかな。」と思い、少年事件に携わる警察官になろうと思った。平成16年、警察官を拝命。



渡利智子さん 原田沙斗さん 袖山桂子さん 山口真由さん 野村実里さん

◇理事長賞 野村 実里さん

『仕事と私』

1984年生まれ。独立行政法人国際協力機構関西国際センター国際協力員。

小学校の頃から海外に興味を持つ。

大学時代に初めて海外へ。大学3年時には中国広州へ交換留学(1年間)。

卒業後、中国系貿易会社に2年間勤務。海外で自分の力を試してみたかったのと旅の間お世話になった人々への恩返しも兼ねて、海外青年協力隊に応募。中央アジア・キルギス共和国で、一村一品活動、女性の自立支援活動の一環として石鹸作りを展開。現地の女性たちと共に、失われかけていたキルギス伝統石鹸も復活させ、国の重要文化財に登録される。帰国後、地元和歌山で協力員になる。

◇ヤングBPW賞 原田 沙斗さん

『仕事と私・職業』

1991年生まれ。ラジオ番組制作者。

仕事をする事、その大切なポイントを教えてくれた出来事がいくつかあります。

「マニュアルを完璧に覚えることが仕事」と思っていた私に、「人の心を理解することがたいせつ」と行動で教えてくれた先輩。ニュージーランドでの地震体験は、生きることの大切さ実感させてくれました。

仕事をする事、それは自分自身が生きること。自分を育てるだけではなく、他人(ひと)を育てること。その大切さを、これからの人生で実践して行きたいと考えています。

◇ヤングBPW賞 袖山 桂子さん

『プロフェッショナルの仕事とは』

1985年生まれ。ライフプラン・コンサルタント(ジブラルタ生命保険株式会社)

二度目の転職の後現職について2年目。

プロフェッショナルの仕事とは何か、ビジネスおよびプライベートで今後目指すところについて話します。

◇ヤングBPW賞 渡利 智子さん

『仕事と私』

岐阜県商工労働部地域産業課主任。

大学卒業後、国際協力NGOオイスカの広報担当として3年間、青年海外協力隊として西アフリカのブルキナファソ県境・生活環境省サヘル州局にて2年間勤務。英国で修士号を取得後、2012年4月より現職。

2014 年国連女性の地位委員会(CSW)へ！ CSW インターン募集中

日本 BPW 連合会では、国際問題に関心を持つ大学生または 30 歳以下の女性を対象に、毎年 3 月、ニューヨークの国連本部で開催される、女性の地位委員会 (CSW) に派遣するインターンを募集しています。これは、日本 BPW 連合会が加盟する BPW インターナショナル(BPWI)が、国連の「諮問的地位」を有する団体であることにより、はじめて可能になるもので、2003 年に第 1 回派遣が行われて以来、今回は第 10 回の派遣となります。



2014 年派遣インターン募集要項

募集目的 国際問題・国連問題に関心を持つ、あるいは将来その方面で活躍したいと願う若い女性を支援する目的で行われるもので、国連・CSW での各国代表の発言を傍聴する他、国連本部内及びその周辺で行われる様々な関連行事への参加を通して、若い世代の国際的な感覚・知識の育成を目指しています。尚、現在国連本部ビル改装中のため、国連本部での予定については、変更の可能性があります。

毎回主要テーマが設定されます。第 58 回女性の地位委員会のテーマは、「2000 年に採択された『女性及び女兒に対するミレニアム開発目標』の成果 (Achievement) と課題 (Challenge)」です。

期 間 2014 年の第 58 回国連女性の地位委員会は 3 月前半の 2 週間の予定です。期間中に、BPW-NY 総会が行われますので、参加期間は、女性の地位委員会が始まる前の週の金曜日から BPW-NY 総会までの約 10 日間をご予定いただき、その後、女性の地位委員会の期間の最後まで参加されるかについてはご相談にじます。

募集対象 国際問題、女性問題、国連に関心を持つ大学生または 30 歳以下の女性、若干名 (3~4 名) 帰国後、報告書を日本 BPW 連合会に提出していただきます。また、ヤング BPW のメンバーとして BPW の活動に参加していただきます。

費 用 航空運賃・宿泊費・生活費は自己負担。但し、登録料及び BPW が行うイベント (夕食会・BPWNY クラブの総会) 等への参加費の一部は BPW で負担します。

応募方法 お問い合わせ及び応募は上記 e-mail にて受付けています。応募必要事項を記載の上、小論文を添付し送信願います。

応募必要事項：氏名・住所・連絡先 e-mail・電話・生年月日・所属 (学部／専攻) 又は職業・履歴 (高校卒業後の学歴／職歴) ・滞在可能期間 (予定)

小論文：応募動機および国際問題・女性問題・国連に関するあなたの意見を日本語および英文で述べて下さい (日本語で 1000 字前後、英文で 500 words 以内)。

メール件名：「UN-CSW インターン応募」と記載のこと。

宛先アドレス：csw2014@bpw-japan.jp

(日本 BPW 連合会 CSW インターン担当)

応募〆切 2013 年 9 月 30 日 (必着) ※延長しました

結果発表 2013 年 10 月 5 日 ※締切延長に伴い変更 (E-mail にてお知らせします。)

6つの特典

1. CSW の会議と平行して行われる様々なイベントやワークショップに参加し、発言し、意見を述べる事ができます。(一部有料)
2. BPW インターナショナル主催の各種活動 (ワークショップ・交流会・夕食会など) に参加して、各国の BPWI メンバーと交流ができます (有料部分は BPW 一部負担)
3. 国連や CSW に関する説明や解説を事前あるいは現地で受けることができます。
4. 日本政府代表部が行う公式説明会に参加できます。
5. 世界各国の女性団体の方と交流できます。
6. 国際関係・女性問題関係を先行する女子学生には、論文作成などのための最前線の資料が入手できます。

★★その他の詳細・申し込みはこちらから★★

<http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html>

皆様の地域の大学、女性グループ、若い女性などに募集をお知らせください。

※今回は、国連周辺で開催されるサイドイベントに参加するツアーを計画しています。

会員のみなさんも一緒にニューヨークに行きましょう。

滞在期間は短いながら、参加者からは、論文のデータ収集に役立った、就職に有利に働いた、国際的ネットワークづくりへのきっかけとなったなど好評を得ています。2014 年インターン募集が第 11 回目となります。応募の詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、これまでの参加者の声、報告もホームページ上で読むことができます。

<Topic 1>

JWLIフェローシップ事業

(Japan Women's Leadership Initiative)

2013年度研修生4名は、

9月9日～10月4日、ボストンでの研修に参加します。

<Topic 2>

平成25年度

男女共同参画社会づくり功労者

内閣総理大臣表彰

遠藤恵子さんが受賞されました。

- ・仙台クラブ
- ・山形県立米沢女子短期大学学長
- ・元(公財)せんだい男女共同参画財団理事長

※男女共同参画社会づくり功労者

内閣総理大臣表彰とは

多年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった者や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた者などを顕彰することによって、豊かで活力ある男女共同参画社会の形成に視することを目的とする。

日本BPW連合会は今後も復興支援を続けていきます。皆様のご協力をお願いいたします。

「女たちの、女たちによる仕事づくり」復興支援金

■郵便局からのお振込の場合

記 号 10080

番 号 32423911

口座名 トクヒ)ニホンビーピー
ダブルレンゴウカイ

■銀行からのお振込の場合

ゆうちょ銀行

店 名 ○○八(ゼロゼロハチ)

店 番 008

普通預金

口座番号 3242391

口座名 トクヒ)ニホンビーピー
ダブルレンゴウカイ

お振込み時の担当者へお願い

・振込み手数料はご負担願います

・クラブ名を明記願います

※通帳に表示されるのは、半角 9 文字、全角だと 8 文字までのため、BPW は不要ですが、入れる場合は、必ず英字でお願いします。

良い例 ◎トウキョウクラブ

◎BPW トウキョウ

悪い例 ×ビーピーダブルトウ→東海?東京?

×ビーピーダブルリュウ→クラブ名不明

×担当者個人名→検索必要

■■■■ 執行役員・理事・監事改選 ■■■■

6 月の名古屋総会で承認されました理事・監事は下記の通りです。皆様、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

□執行役員

理事長(新任)	名取はにわ	理事再任
副理事長(再任)	棚田美津子	理事再任・山形クラブ
副理事長(新任)	濱田 啓子	理事再任
副理事長(新任)	岡内須美子	理事再任・香川クラブ
専務理事(新任)	佐藤 道子	理事再任
会計(新任)	藤田ひろみ	理事再任
企画委員長(新任)	平松 昌子	理事再任
組織委員長(新任)	高嶋 洋子	理事再任
広報委員長(新任)	塩崎 智子	理事就任
国際委員長(新任)	花崎 正子	理事再任
財務委員長(新任)	土田アイ子	理事再任
ヤング委員長(新任)	村田 美夏	理事再任・東京クラブ

□クラブ代表理事

札幌クラブ	三浦 晶代	理事就任
旭川クラブ	荒 弘子	理事再任
仙台クラブ	遊佐美由紀	理事再任
山梨クラブ	深沢 公子	理事再任
名古屋クラブ	波多野慧子	理事再任
東海クラブ	若林 昌子	理事再任
アイリス東海クラブ	余語三枝子	理事再任
岐阜クラブ	河井 洋子	理事就任
京都クラブ	志野久美子	理事再任
大阪クラブ	河田 英子	理事再任
和歌山クラブ	小原 智津	理事再任
福岡クラブ	岩城 和代	理事再任
北九州クラブ	児嶋かよ子	理事就任
長崎クラブ	鶴田 雅子	理事再任
熊本クラブ	垂見(富田)和子	理事就任

□監事

監事	森川 幸江	監事再任
----	-------	------

編集後記

「今年こそ、総会の余韻が冷めないうちに発行しよう!」という決意は、暑さと忙しさに負けてあえなく撃沈です。まだまだ暑いです。みなさまご自愛ください。